神秘学ポエジー 風遊戯 photopos 122

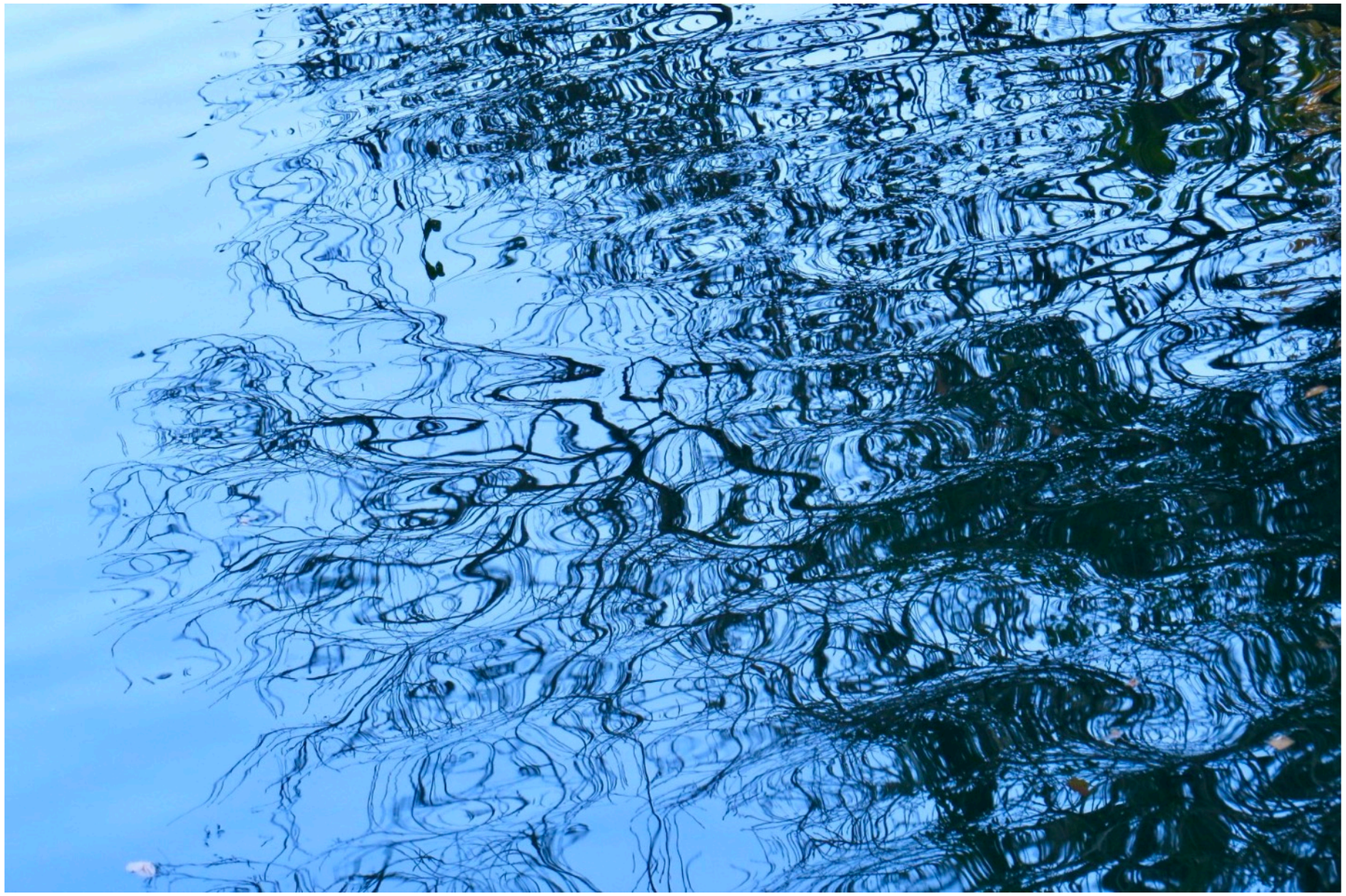
【神秘学ポエジー～風遊戯 第 244集】 photo ヴァージョン

photopos 3026-3050

《2022.12.21～ 2023.1.14》

神秘学遊戯団

☆photopos-3026　　2022.12.21



心は
ここに
あるのに
さわれない

さわれないのに
消すことさえできず

ともに生きて
迷路をゆく

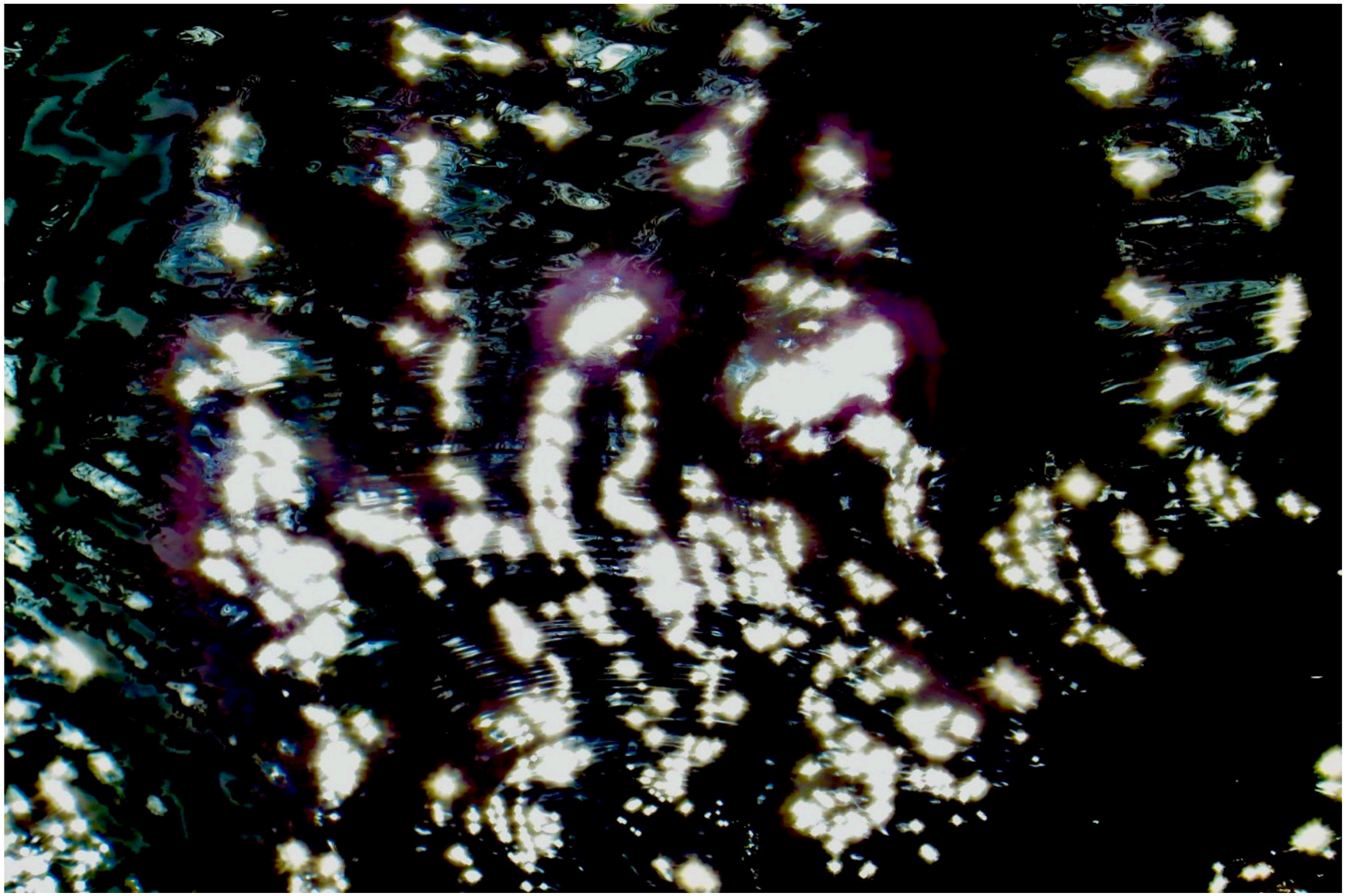
どこから
きたのか
この心

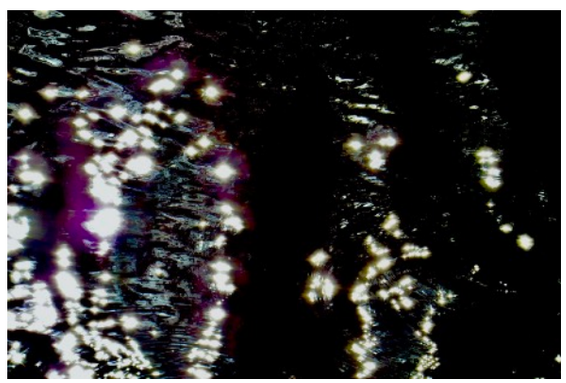
どこへ
ゆくのか
この心

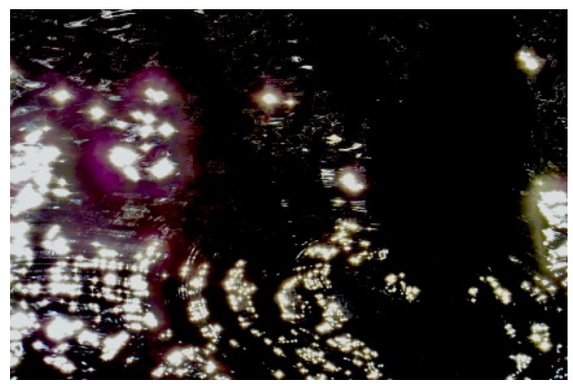
ひとの心も
わからぬままに
心の謎に
惑わされ

※愛媛県総合運動公園にて

☆photopos-3027　　2022.12.22







※愛媛県総合運動公園にて

こころの
源にはなにがある

いろんなものを
身に纏いすぎて
こころは
じぶんが
見えなくなっている

花とともにあるとき
花は
花でいいのに
花をいろんな言葉で表そうとする

石とともにあるとき
石は
石でいいのに
石にいろんな意味を付けようとする

こころは
生まれもしなければ
死にもしない
減りもしなければ
増えもしない

こころは
こころの源は
ただこころだ

☆photopos-3028　　2022.12.23

生まれてくることは
じぶんでじぶんに制約を課しながら
生きようとすることだ

ほんとうは自由なのに
自由になるために
自由ではない場所にいるように

ほんとうは愛とともにあるのに
愛を知るために
愛を知らないじぶんでいるように

ほんとうはできるのに
できるようになるために
できないじぶんでいるように

ほんとうは死ぬことはないのに
生を知るために
死するじぶんでいるように

そんな矛盾のなかで
はじめて得ることができる
謎のような永遠がある

※愛媛県久万高原町・古岩屋にて

☆photopos-3029　　2022.12.24

※愛媛県久万高原町・古岩屋にて

かつて見ていたはずの光は
ただの幻だったのだろうか

見えていなかったのに
見たと思いこんでいたのか

それともだれもが
見ているとしていたために
見えないとはいえないだけだったのか

すくなくともいまでは
光が見えるなどという者はいない

光は失われたのだろうか
はじめからなかったのだろうか

光あれ！
そして
世界のはじめに光はあり
それはやがてことばとして生まれた

そしてその光は
決して失われてはいない

今や光は
ことばとして
みずからの内で眠っている

かつてたしかに見ていたはずの光は
予感だったのだ
やがて育てていかなければならない
たいせつなことばの予感

そんな予感とともに
ポエジーが生まれますように

☆photopos-3030　　2022.12.25

※愛媛県松山市・重信川河口にて

生まれてきたら
ただ生きることだ

生きている
そのことに
意味があるのだから

たとえその意味が
問い続けるしかないだけだとしても
生まれてくることは
それそのものに意味がある

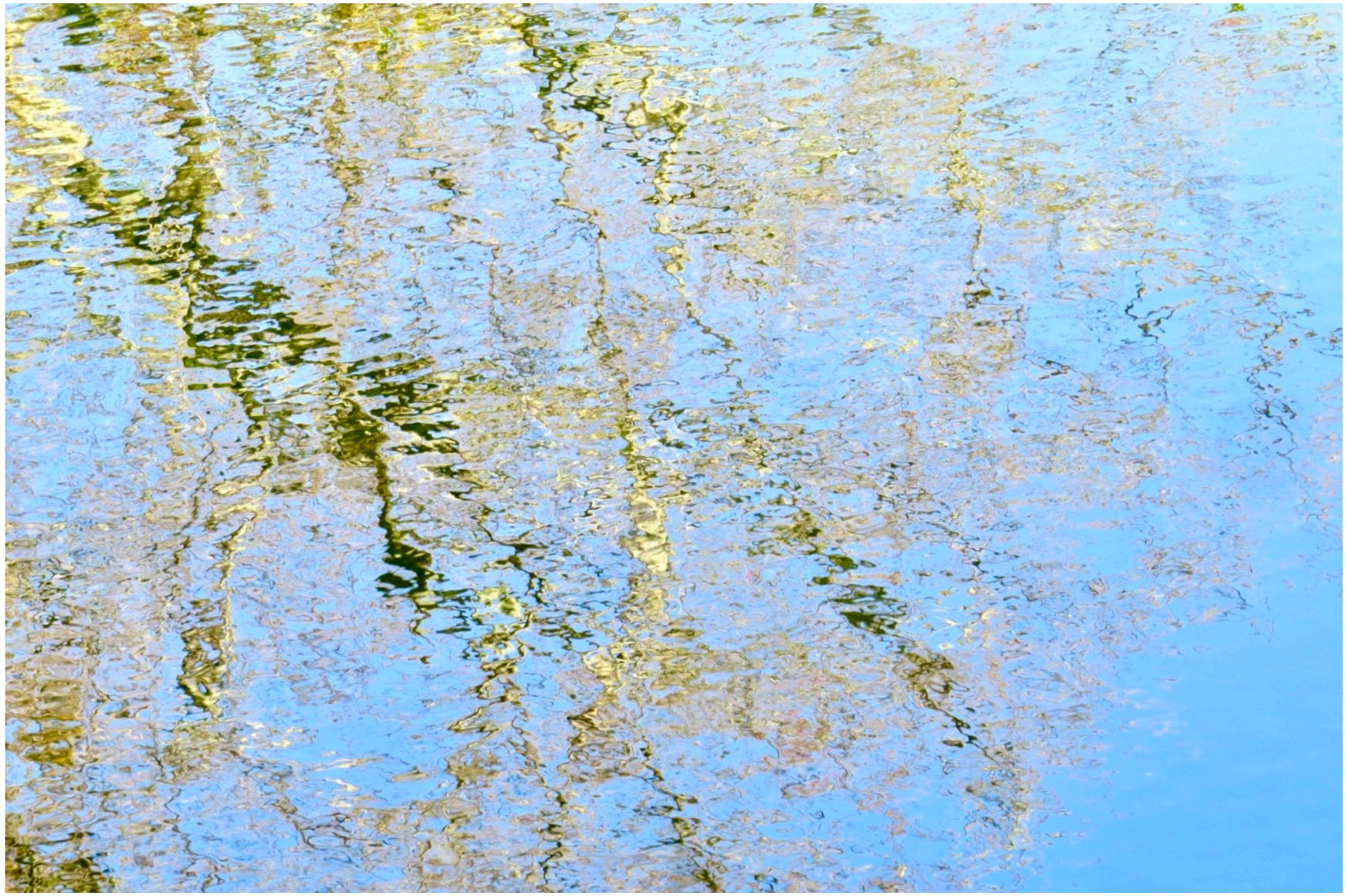
死はやがて
まちがいなく
訪れてくる

しかし
死ぬということ
そのことにも
また意味がある

たとえその意味が
わからないとしても

そこにはたしかに
ただ生きていることでしか
得られない果実が
実っているはずだから

☆photopos-3031　　2022.12.26



※愛媛県総合運動公園にて

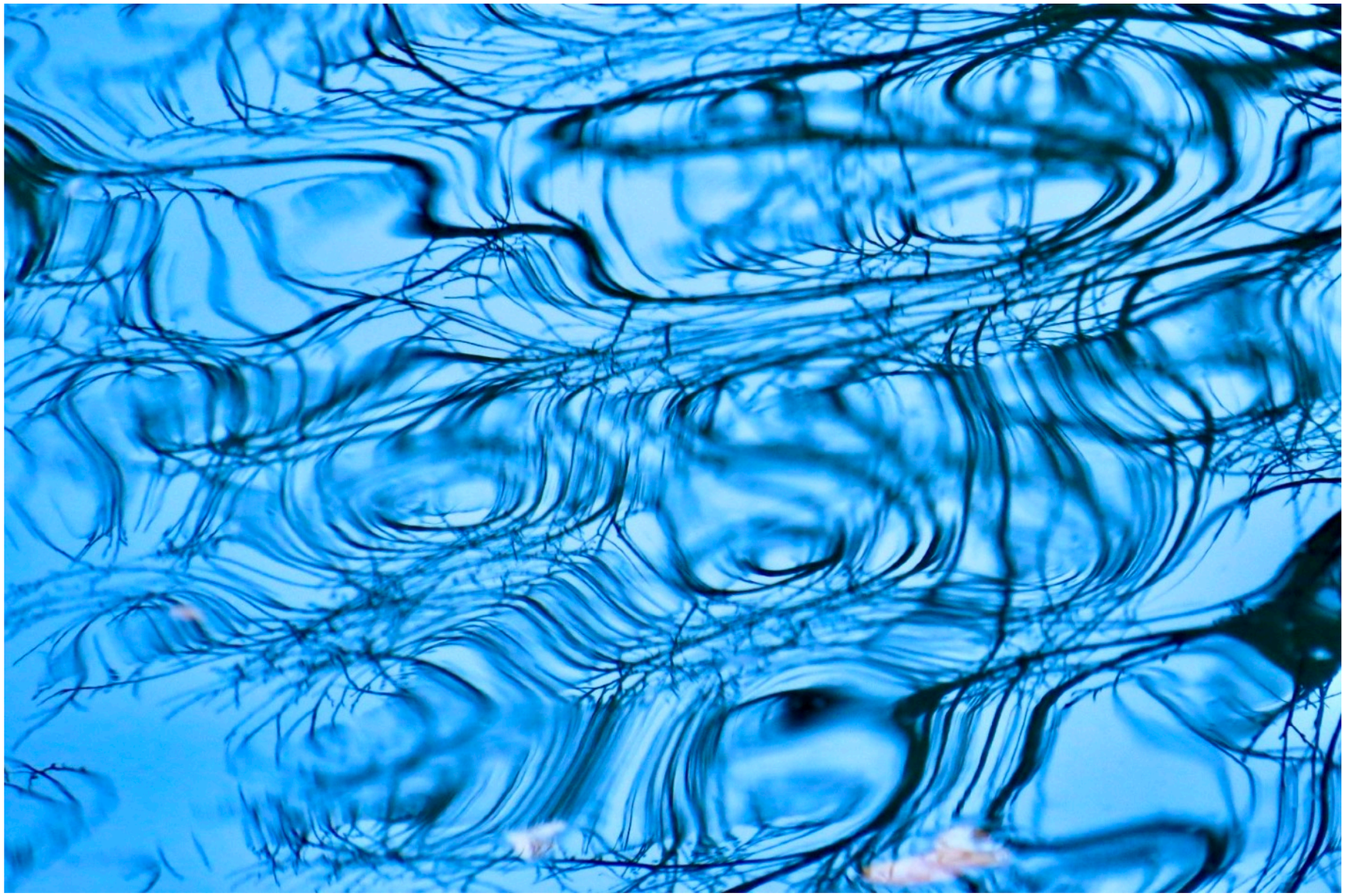
存在が
すべてなのに
わたしたちは
存在を忘れ
幻を追いかけている

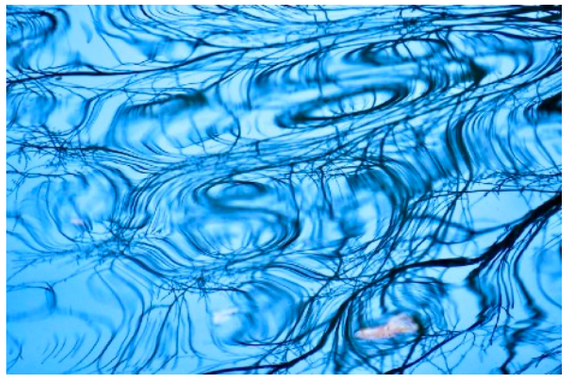
沈黙に
すべてはあるのに
わたしたちは
沈黙することを忘れ
饒舌を生きている

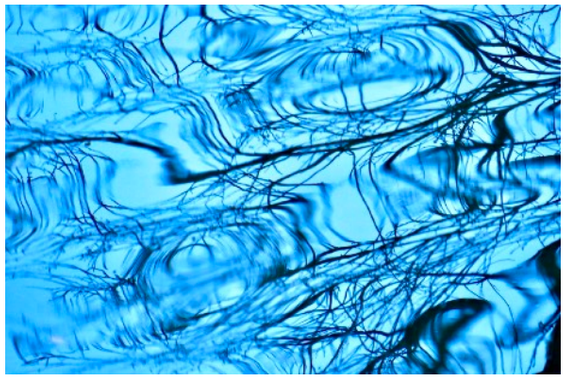
なにも
失われることはないのに
わたしたちは
失うことを恐れ
じぶんを見失っている

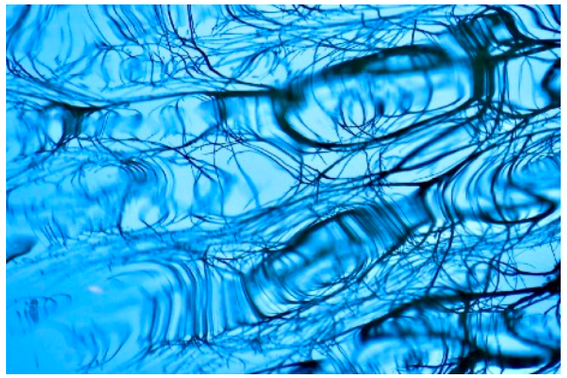
すべての知は
非知に支えられているのに
わたしたちは
知らないことを知らないまま
じぶんをこそ知らないでいる

☆photopos-3032　　2022.12.27









※愛媛県総合運動公園にて

あたりまえのことが
あたりまえでは
なくなるとき

それまで
あたりまえだと思っていた
世界は揺らぎはじめる

それはもう
そうでなくてもいいのだ

けれど
あたりまえの世界は
まだおそらく続いていて
そのなかで生きる術を
学ばねばならないのだが

わたしであるはずのことが
わたしではなくなるとき

それまで
わたしだと思っていた
わたしは揺らぎはじめる

このわたしはもう
このわたしでなくてもいいのだ

けれど
わたしであることは
まだそのまま続いていて
そのなかで
わたしを生きる術を
学ばねばならないのだが

☆photopos-3033　　2022.12.28

※愛媛県松山市・重信川河口にて

きれいはきれい
なのだろうか

きたないはきたない
なのだろうか

ほんとうのところが
わからなくなることはないか

善は善
なのだろうか

悪は悪
なのだろうか

見えている姿が
反転してみえることはないか

わたしはわたし
なのだろうか

あなたはあなた
なのだろうか

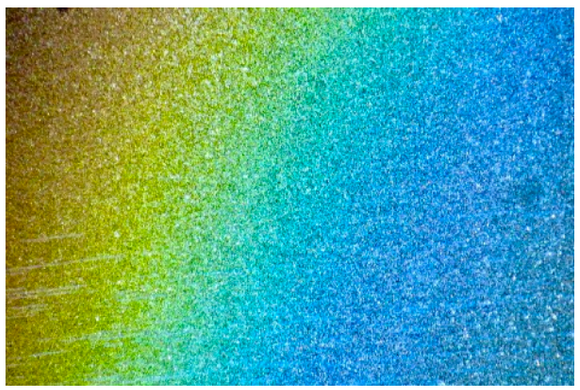
自と他が鏡像のなかで
入れ替わった気のすることはないか

存在は存在
なのだろうか

無は無
なのだろうか

目覚めと眠りのように
めぐる姿に思えることはないか

☆photopos-3034　　2022.12.29



※愛媛県総合運動公園にて（噴水に架かった虹）

このいちねんだけでなく
生きてきた年つき
さらには
生まれるまえに溯り

ときには
わたしというだけではなく
わたしでないわたし
でもある魂のことを
ふりかえってみる

ソクラテスから
ホメロスの時代まで溯れば
ひとにはまだ
じぶんの心はなかったそうだ
心は外にいる神々から与えられていた

中国でも
孔子のころには
まだ心という漢字は
使われていなかったから

心なるものは
その後すこしずつ
ひとのなかで生まれ育ってきたものだ

いまでもひとの心は
混乱のさなかにあるようで
わたしもそうした混乱のままに
右往左往しつづけている

やがてはこの心なるものに
安心と平安が訪れてくれますように
そう願いながら
わたしをふりかえる
わたしの心である

☆photopos-3035　　2022.12.30

※愛媛県久万高原町・古岩屋にて

？からはじめる

わからないときは
なにがわからないかを考える

なにがわからないかが
わからないときは
わからないことを根気よく
どんどんさかのぼっていく

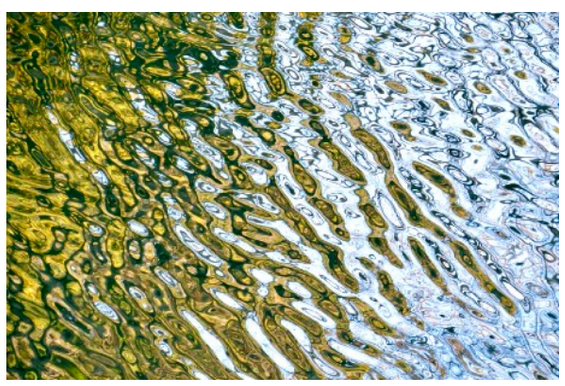
そして
たどりついたいちばん最初の？から
ひとつひとつたどっていき
ほんとうにわからないところまでいく

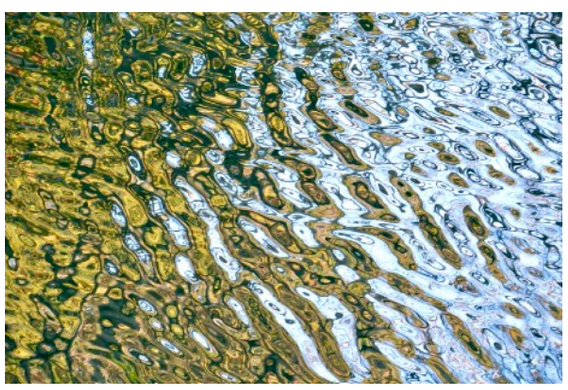
間違ってても いい
間違っていることがわかったら
そうでなくすればいいだけだから

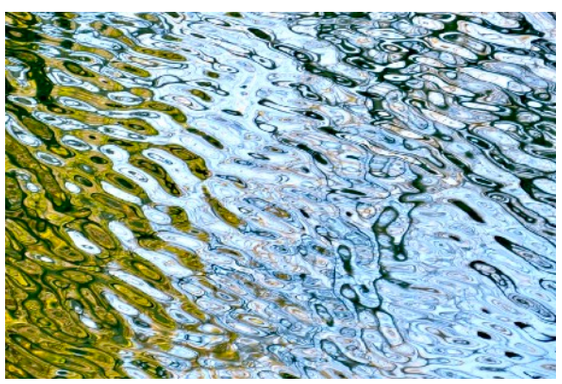
どうしてもわからないときも
それは意味のないことではない
何がわからないかがわかるということほど
大きな一歩はない

ほんとうの？からはじめられるのだから

☆photopos-3036　　2022.12.31







※愛媛県総合運動公園にて

光は
照らすが
じぶんを
見ることはできない

けれど
照らすことで
世界を広げるだろう

花は
咲くが
じぶんを
見ることはできない

けれど
咲くことで
世界を開くだろう

祈りは
捧げられるが
じぶんを
祈ることはできない

けれど
捧げられることで
世界を解き放つだろう

手は
作るが
じぶんを
作ることはできない

けれど
作ることで
世界を変えるだろう

☆photopos-3037　　2023.1.1

悩める心を
どうすればいい

その心を
取り出してみるよう
命ずる者あり

心はどこにある

かつて心は
神々から
与えられていたという

その神々がやがては
内に棲みつくようになり
対話するようになる

そして私は私となり
考える私となり
悩める私となる

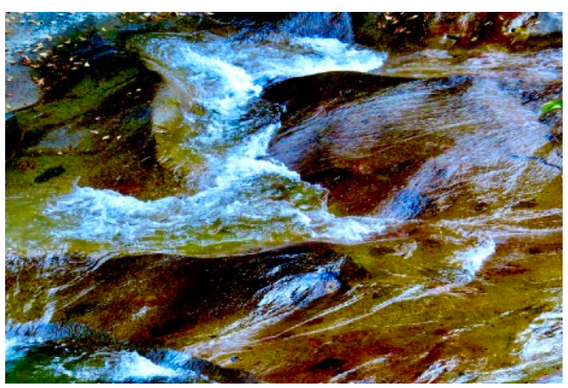
悩める私を
どうすればいい

その私を
開くよう
命ずる者あり

私はどこにいる

※高知県高知市・牧野植物園にて（バイカオウレン）

☆photopos-3038　　2023.1.2



※愛媛県北宇和郡松野町・滑床渓谷にて

存在が
存在する

その不思議を
生きる
私が
私している

また
その不思議

存在は
不生不滅

にもかかわらず
それが
生きられ
そして
死を迎える

あえて
生と死のあいだで
存在はなぜ
遊戯するのか

それこそが
三千世界の摩訶不思議

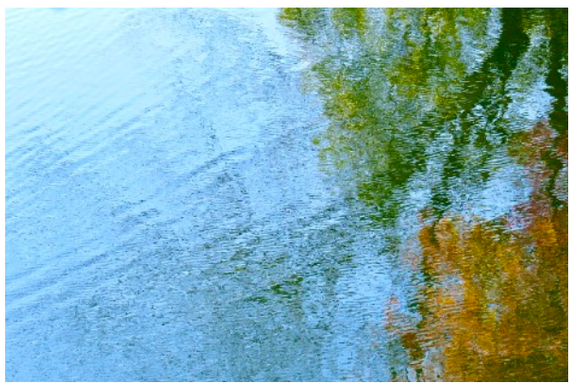
☆photopos-3039　　2023.1.3

ぼくが見ているときの空は
見ていないときの空と
同じ空なのだろうか

ぼくが生きているときの空と
死んだあとの空は
同じ空なのだろうか

風も水も
樹も花も鳥も
そしてあなたも

ぼくがこうしている時空は
秘かに外にひらかれていて
ぼくとぼくでないすべては
その場所で
秘密の言葉を
交わし合っているのかもしれない



※愛媛県総合運動公園にて

☆photopos-3040　　2023.1.4

※愛媛県北宇和郡松野町・滑床渓谷にて

いまここで起こったことが
起こらなかった世界があるとしたら
その世界でぼくは
何をすることになるだろう

生まれてから今まで
無数に起こったことが
無数に分岐しているとしたら
それぞれの世界で
ぼくも無数に分岐していることになる

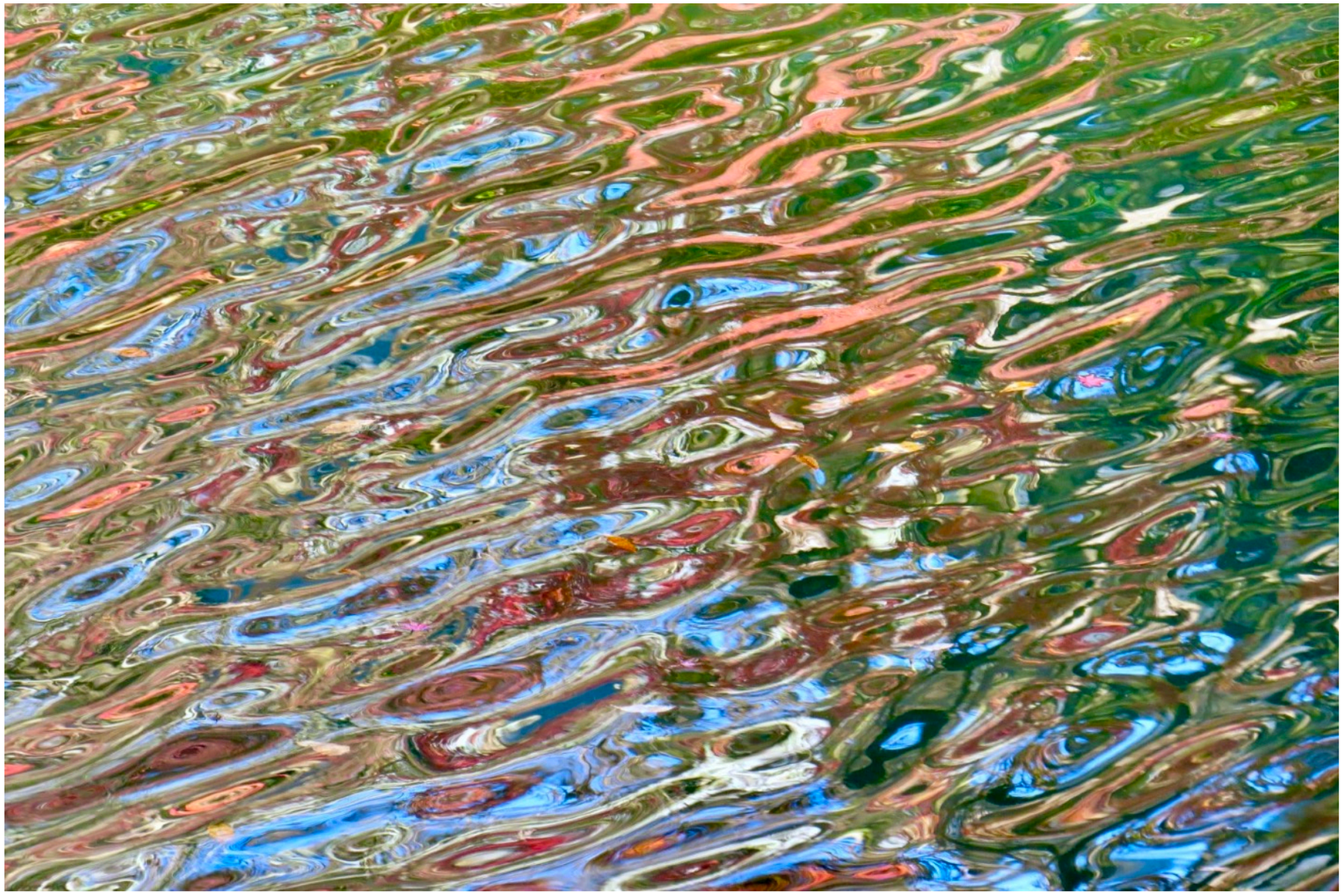
このぼくは
そんな無数のぼくのひとり

だとしても
いまここで
ひとつを選んでいるぼくは
たしかにここにいる

と考えているうちにも
この世界は着々と
ぼくとの二人三脚を続けている

どこへ向かっているのか
わからないまま
それがどんな未来であるとしても
その世界とともに

☆photopos-3041　　2023.1.5



※愛媛県総合運動公園にて

世界観とは
物語世界を作っているような
そんなただの枠組ではない

じぶんがそのなかで生きて
血を流している物語そのものだから
ちょっとやそっとですげ替えられはしない

対話し議論して
そっちの世界観に変えようか
というようなものでもない

いまあるじぶんのこの世界の世界観は
その世界であるための
欠かすことのできない要なのだ

それを変えざるをえないとしたら
その世界では生きられないほどの
破局がそこにあるときだ

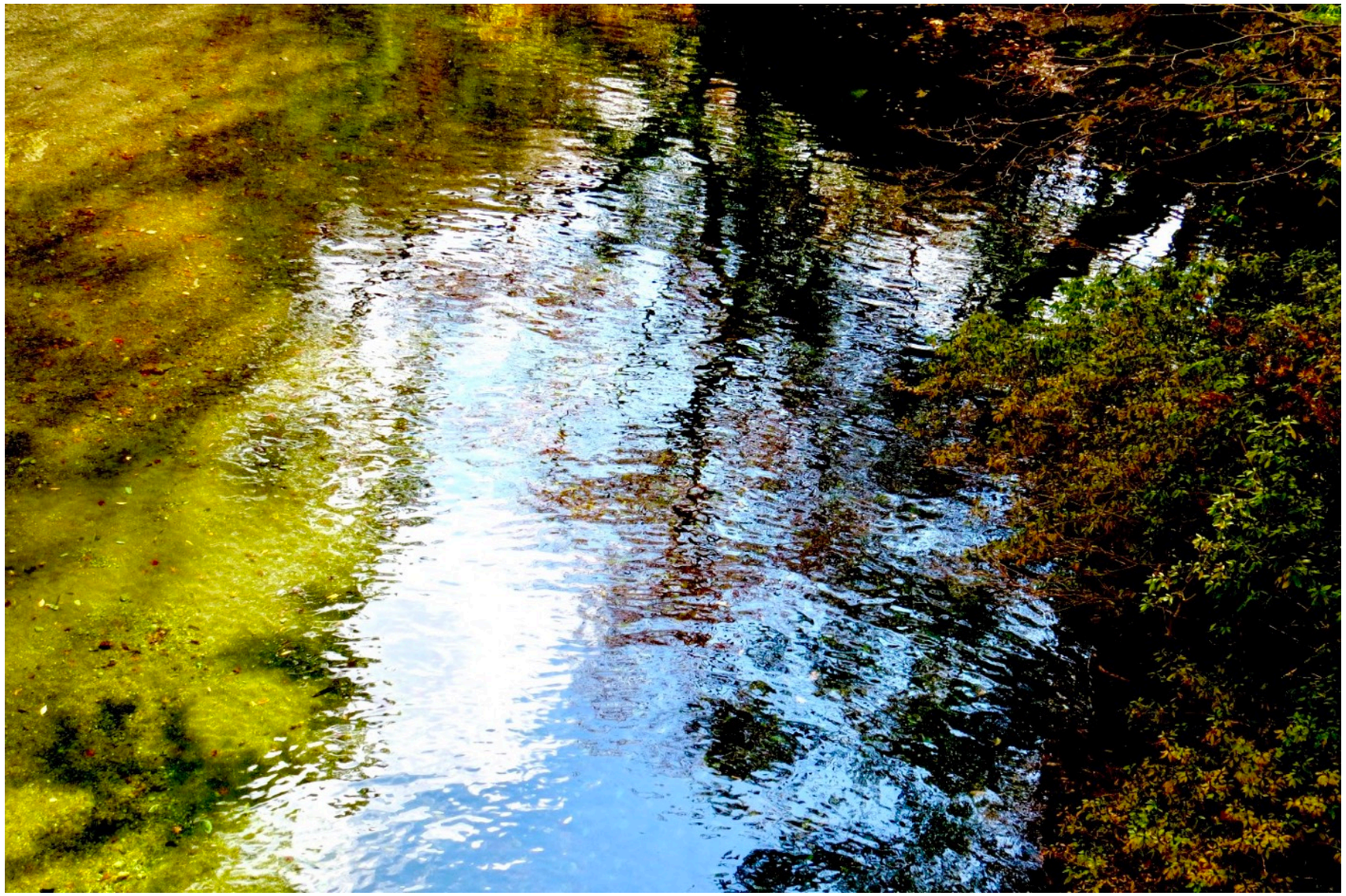
じぶんでじぶんの世界観を
変えざるをえないとしたら
それなりの動機がなければならない

だからこそ世界はそのままでは変わらない
だれもじぶんの世界観のなかで生きて
それを疑いたくはないのだから

結局のところ世界では
外から否応なく
破局が起こることにもなる

それを止めようとするとすれば
じぶんでじぶんの世界観を
変えようとするほどの
全身全霊を込めた勇気が必要になる

☆photopos-3042　　2023.1.6



わたしには窓がある

窓を開けるか
窓を閉じるか

世界は変わる

わたしには鏡がある

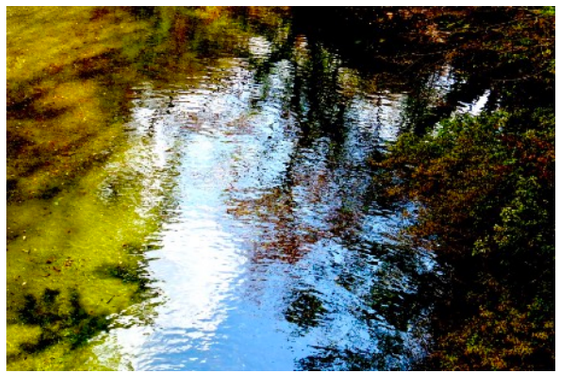
鏡に映すか
鏡に映さないか

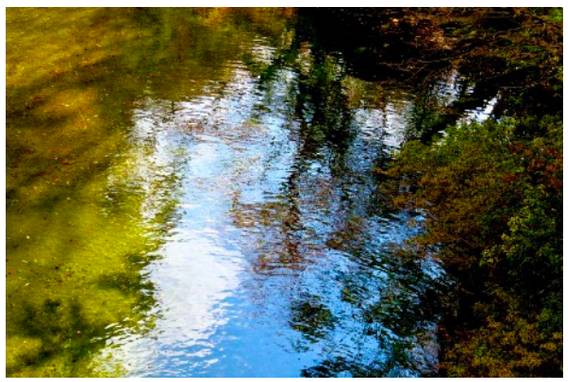
心の姿は変わる

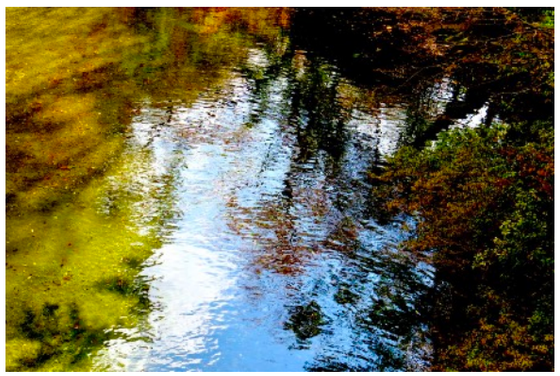
わたしには言葉がある

言葉を生かすか
言葉を殺すか

真実は変わる

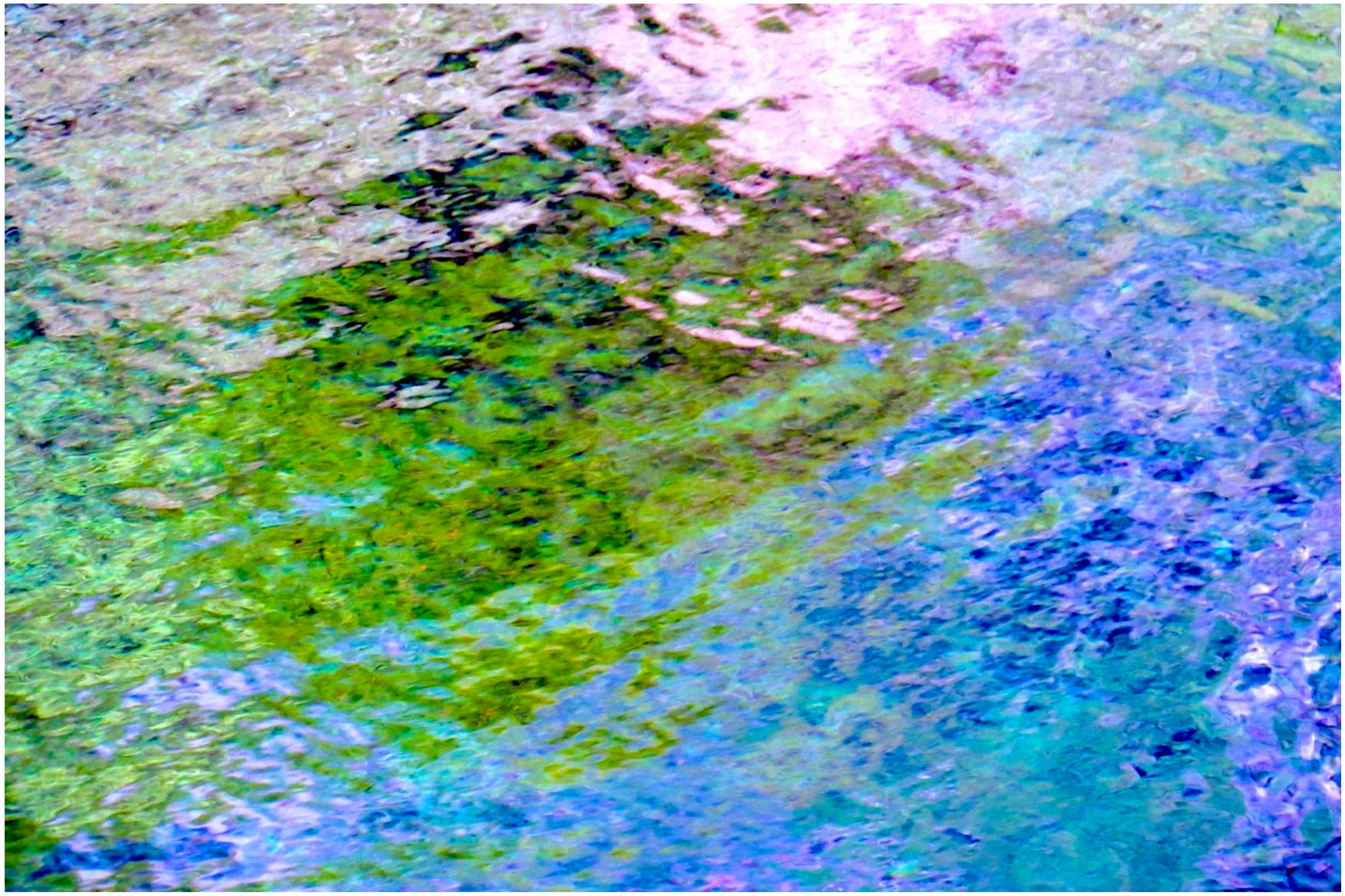


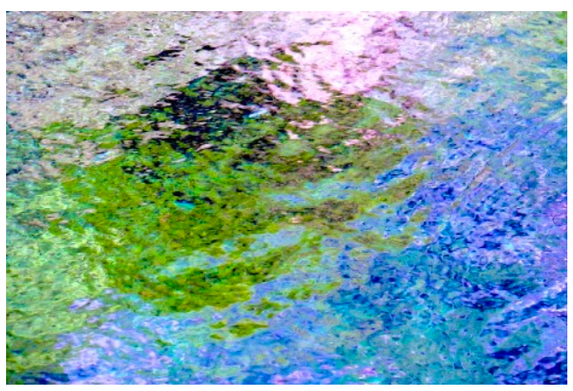


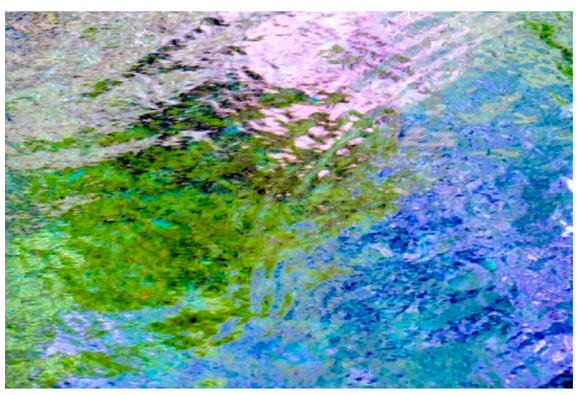


※愛媛県内子町・小田深山渓谷にて

☆photopos-3043　　2023.1.7







※愛媛県北宇和郡松野町・滑床渓谷にて

ひとが
そのひとになるためには
じぶんを育ててくれる庭がいる

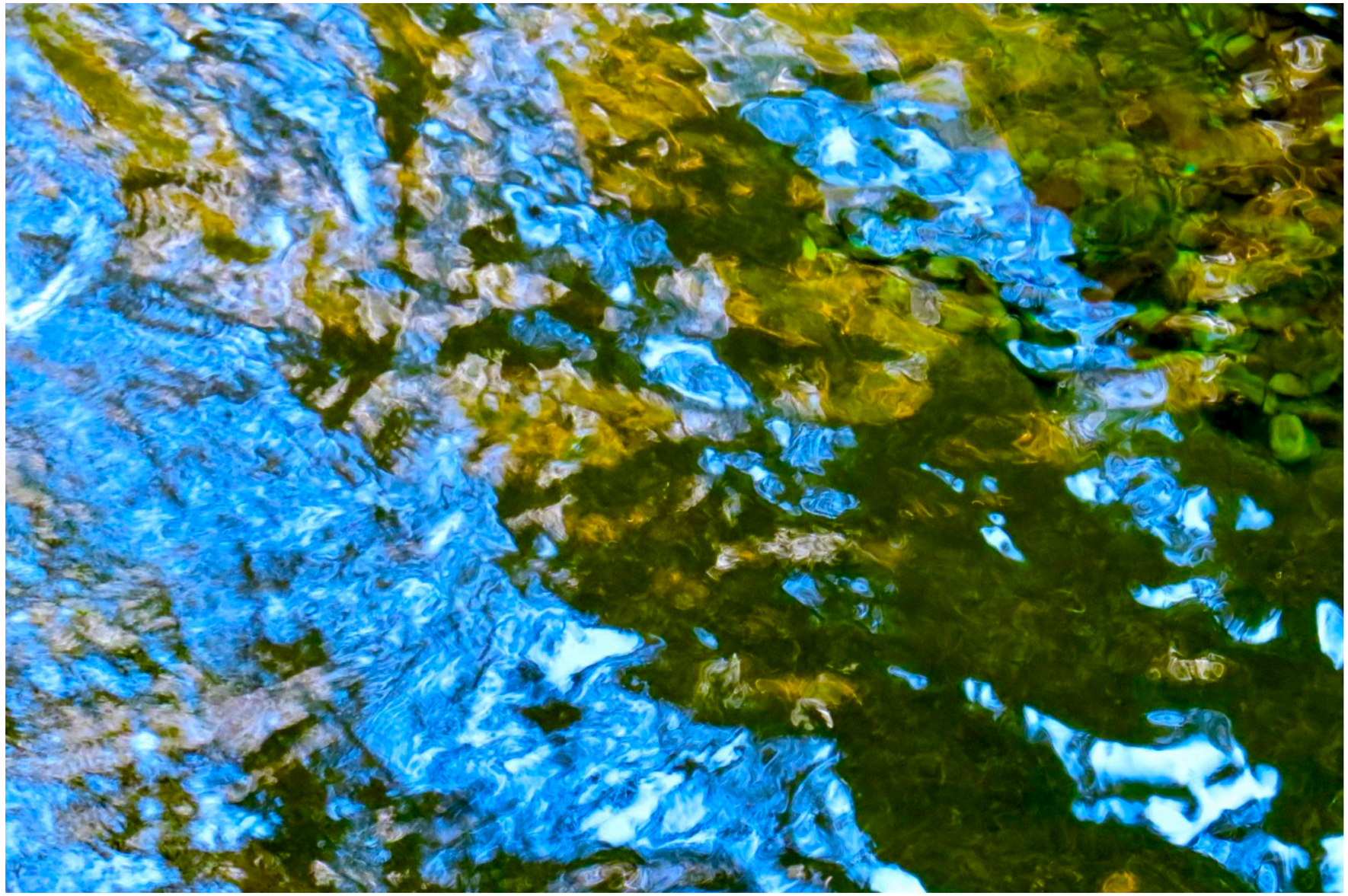
ひとはその庭でまた
種を植え育て
そうすることで
みずからをも育てながら
そこで育つものたちを後に残してゆく

そのひとが
庭のことを忘れてしまっても
またそのひとが
すっかり忘れられても

残された庭は
やがてまただれかが
そのひととして育っていくための
庭となってゆくだろう

その庭が朽ち果てることなく
豊かなものであり続けますように

☆photopos-3044　　2023.1.8



※愛媛県北宇和郡松野町・滑床渓谷にて

ＡＩ技術が進み
自動翻訳の精度は
飛躍的に向上しているが

そこで翻訳されているもの
翻訳できているとされているものは
なんなのだろうか

翻訳されているものは
その多くが「意味」であり
その「意味」によって
行動に転化され得る
言語ゲームだろう

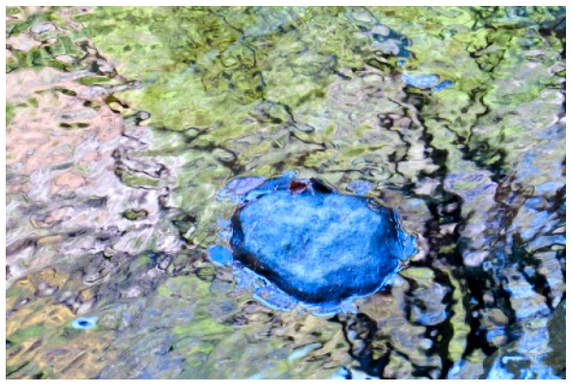
それはそれだが
ＡＩにかぎらず
そのときに
翻訳され得ないものがあること
それこそが
忘れられてはならないものだ

わたしのこの心を
翻訳することなどできない

ましてや咲く花を
流れる水を広がる空を
たしかに翻訳できるだろうか

その不可能性の前で
立ち竦むことができてはじめて
翻訳は「意味」を
開きはじめ得るのではないか

☆photopos-3045　　2023.1.9



※愛媛県北宇和郡松野町・滑床渓谷にて

わたしは
わたしであって
わたしではない

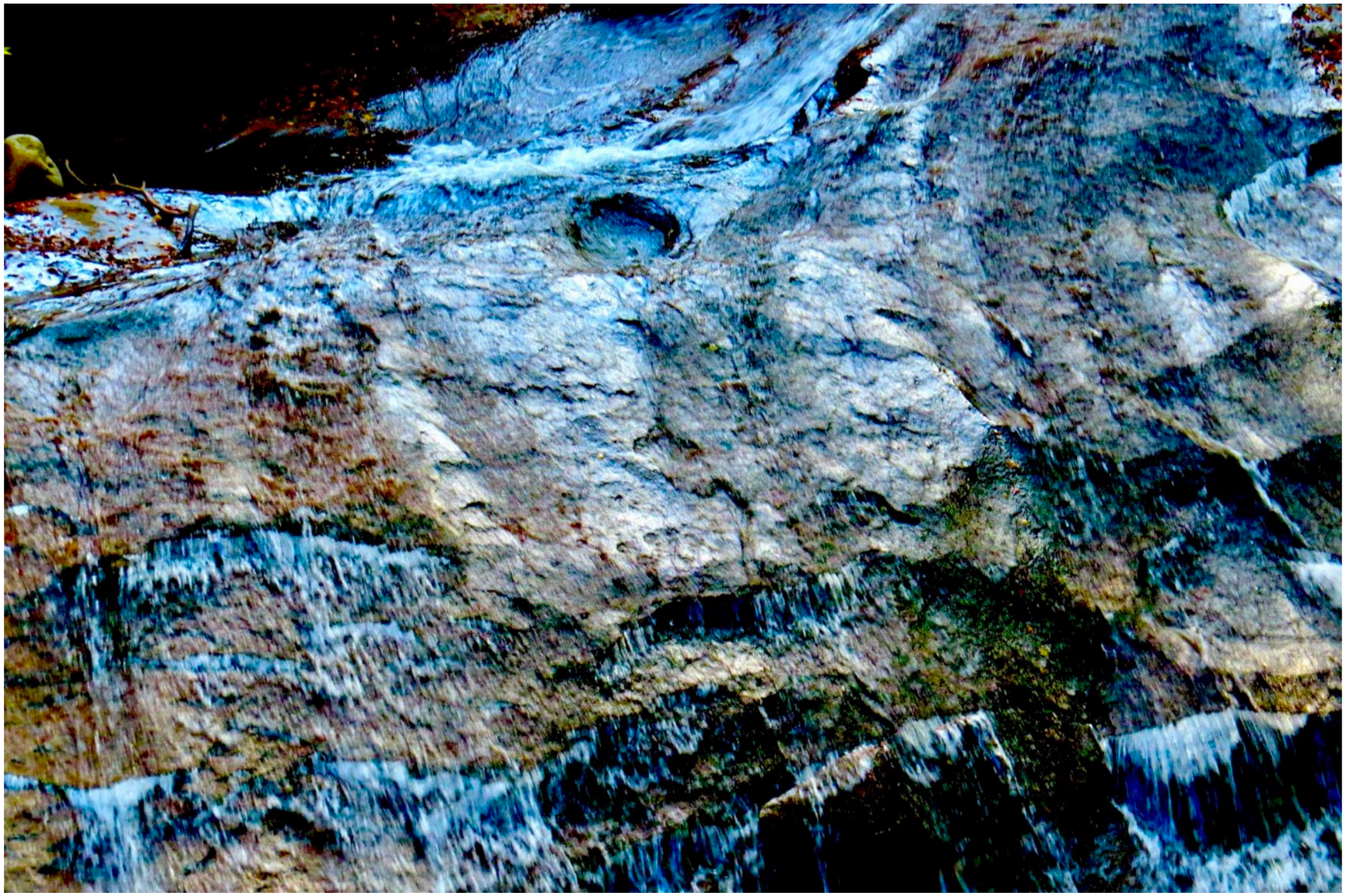
わたしを
忘れてしまった
わたしである

わたしは
わたしでないわたしを
思い出すために
わたしを
去らねばならない

けれど
わたしを去ったとき
このわたしは
わたしでないわたしでもある
そのことに気づく

わたしは
わたしではないわたしは
そこでまた生まれ直す
世界とともに
世界となって生きるために

☆photopos-3046　　2023.1.10



※愛媛県北宇和郡松野町・滑床渓谷にて

知あることを誇る者は
知に溺れ
むしろ知を見失う

知は知ることではなく
みずからの知を疑い
それをたしかめ続けることで
未知へとひらかれることだ

教えられることに従う者は
教えられることに溺れ
考えることができなくなる

考えるとは
教えられることを信じ覚えることではなく
教えられることを疑い
それをたしかめ続けることで
みずからの思考を育てていくことだ

正しさを疑わぬ者は
正しさに溺れ
むしろ正しさを見失う

正しさとは
みずからを正しいとすることではなく
その正しさを疑い
それをたしかめ続けることで
正しいとされていることを超えて歩むことだ

☆photopos-3047　　2023.1.11

わたしの声が
きこえますか

わたしは
だれでもない
あなたに宛てて
言葉を送ります

だれでもない
あなただけれど
ほかでもない
あなただけに宛てて

あなたの声が
きこえます

わたしは
わたしは
あなたの言葉を
聞いています
この耳で

わたしの知らない
あなただけれど
あなたから
ほかでもない
わたしだけに宛てられた言葉を

※愛媛県総合運動公園にて

☆photopos-3048　　2023.1.12

どんなにおいしい食べものも
それを味わえる味覚がないならば
味わうことができないように

それを受けとる手のひらがなければ
それがどんなにたいせつなものだったとしても
受けとることはできない

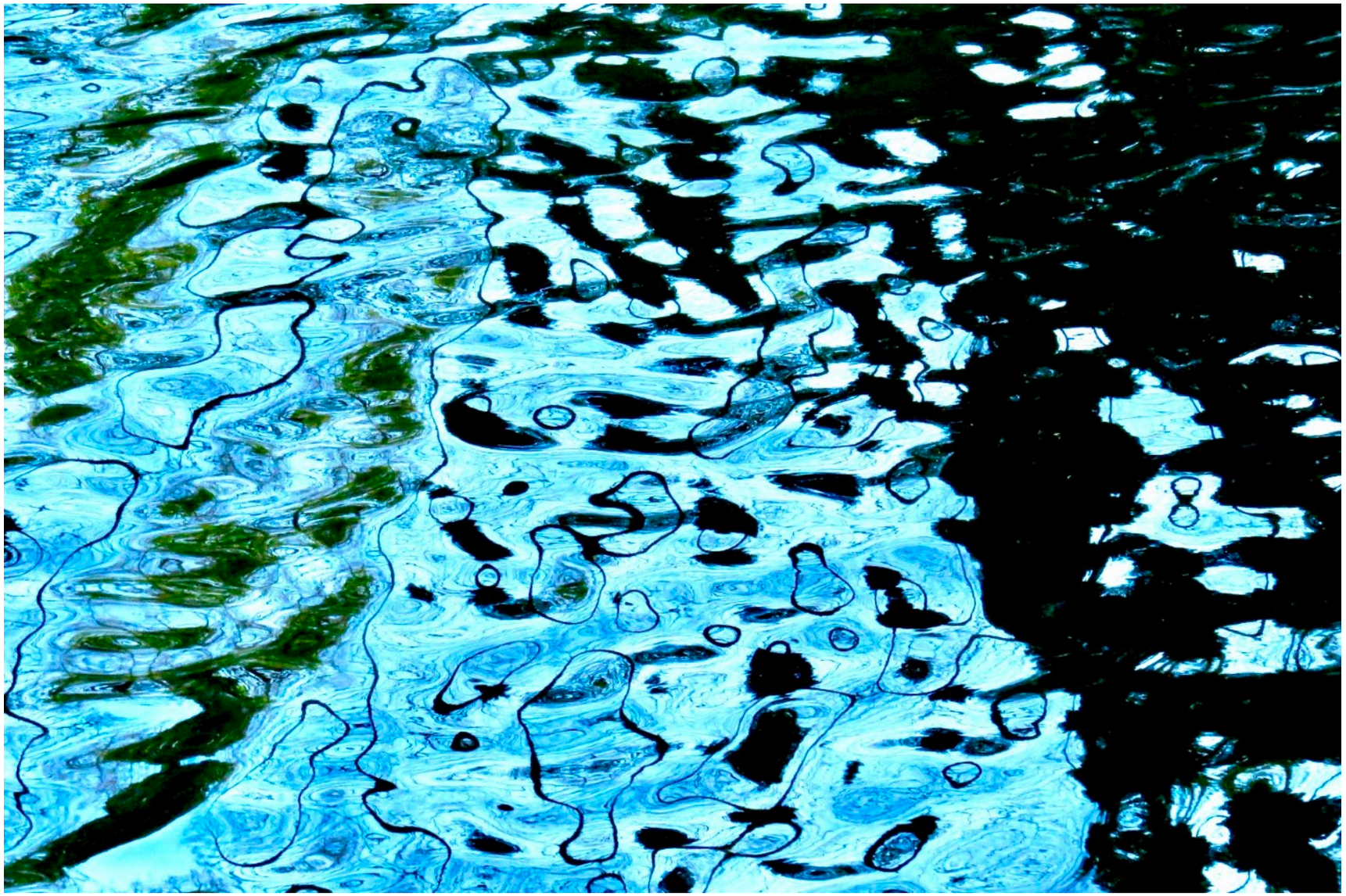
ひとは
たしかに受けとるための
からだとこころを育てるために
生まれてくる

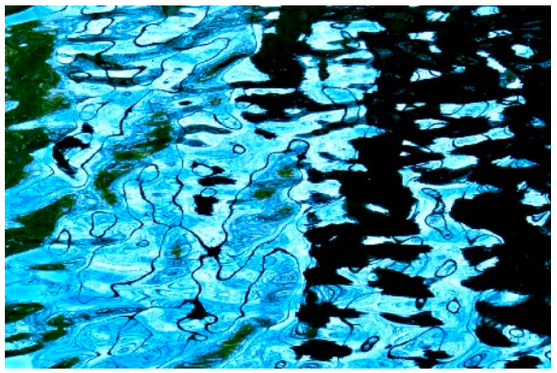
受けとれないときは
どうして受けとれないのか
からだとこころの謎を解いてゆくことだ

からだとこころは
受けとるための手のひらだから
しっかりと準備をして
たいせつなものを受けとれる
そんなかたちをつくれますように

※愛媛県総合運動公園にて

☆photopos-3049　　2023.1.13





※愛媛県総合運動公園にて

教えられる世界から
教えられるじぶんから
自由になるために

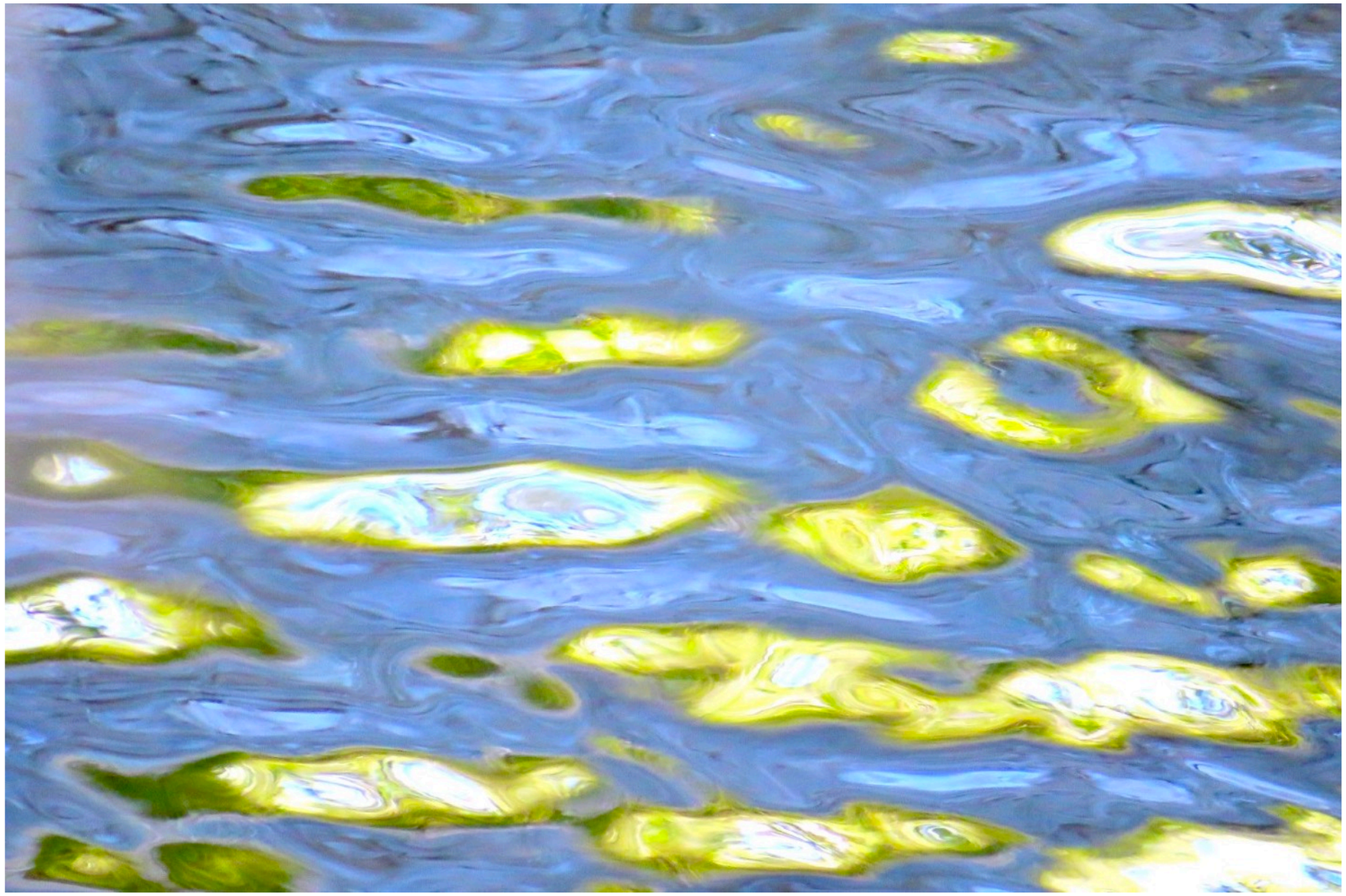
じぶんで世界を見る
世界を見るじぶんを見る

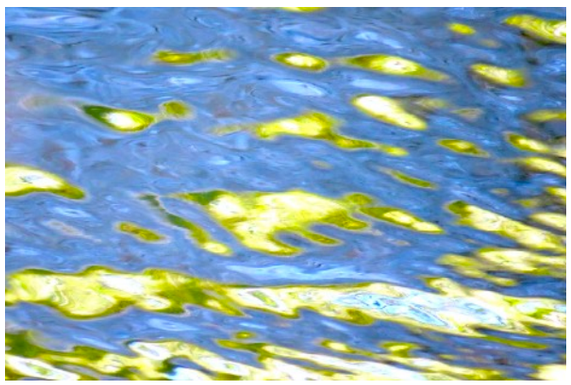
なにが見えるか
わからない
けれど
わからないなりに見る
見ることで
変わってゆく

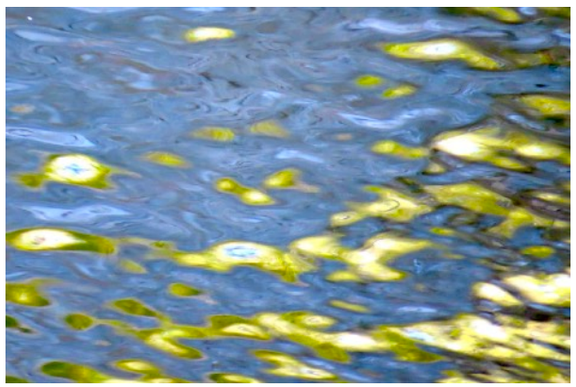
迷いながら
戸惑いながら
不安のなかで
見つづけ
変わりつづける

ささやかだけど
たしかな自由のために

☆photopos-3050　　2023.1.14







※愛媛県総合運動公園にて

問わなければ
わかっているのに
問うことで
わからなくなる

問うことで
それはわたしから
はなれてしまうのに
問わずにはいられない

求めなければ
たしかにそこにあるのに
求めようとすれば
見つからない

求めることで
それはわたしから
はなれてしまうのに
求めずにはいられない

失くしたと思わなければ
失くすことはないのに
失くしたと思うことで
失くしてしまう

失くしたと思うことで
それはわたしから
はなれてしまうのに
失くしたと思わずにはいられない

思い出そうとしなければ
忘れてはいないのに
思い出そうとすると
忘れてしまう

思い出そうとすることで
それはわたしから
はなれてしまうのに
思い出そうとせずにはいられない